

# 舞鶴市展 入賞作品決まる

## 市展賞

6月9日～17日に第50回舞鶴市展を開催。5部門で計309作品が展示されました。各部門の市展賞をはじめ、特選9点、奨励賞13点、委嘱作家賞5点、U-22審査員賞8点が選ばれました。また今回は、第50回記念賞として、5点が選ばれました。各部門の受賞作品は次のとおり。  
▼詳しくは、文化振興課（☎66・1019）へ。



写真の部  
「海の宝石」(50・5枚×61枚)  
田中聖司さん(62歳、福知山市)  
柔らかな色彩の統一感と子どもの一瞬の表情がうまく捉えられています。  
(審査員：永野一晃)

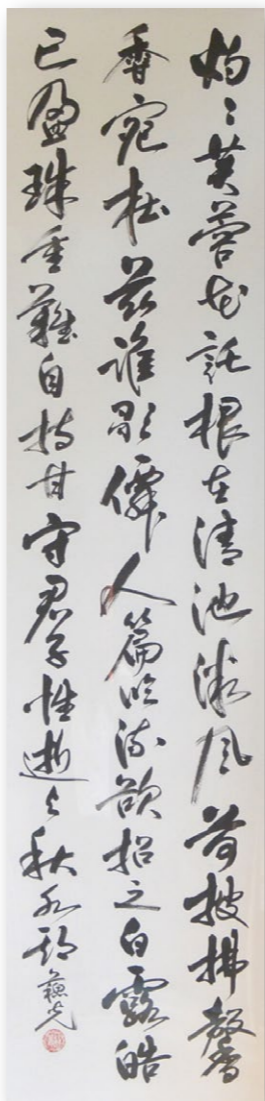


洋画の部  
「朽ちる」(50号) 古川京子さん(67歳、倉梯町)  
一見おとなしい作風ながら、じわじわと情感が迫ってくる様で、実は強い存在である事がわかる。(審査員：森井宏青)



工芸美術の部  
「点はじける！」(62号×39号×20号)  
大江妙子さん(69歳、福知山市)

日本画の部  
「秋日和」(50号)  
新谷喜久枝さん(70歳、小倉)



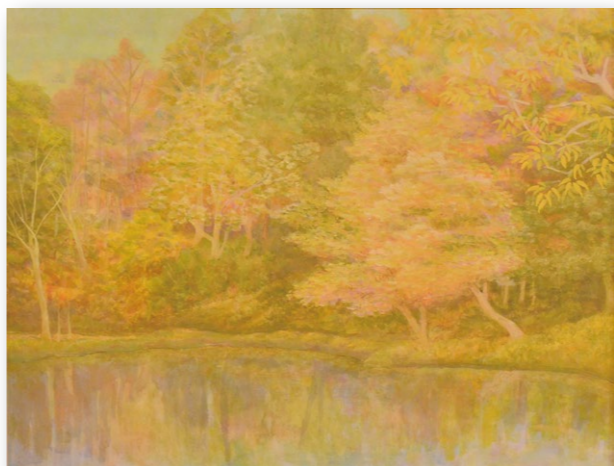
書の部  
「長崎の詩」(224号×54号)  
谷口穂光さん(68歳、福知山市)  
行草の単体作品でありながら、文字の大小、太細、字間の変化により各行が自然に流れ、格調の高い作品に仕上がっています。練達の書であります。(審査員：森嶋隆鳳)



工芸美術の部「十二面観音」(105号×35号×35号)  
四方和行さん(68歳、綾部市)



書の部「俳句巫女の句」(175号×70号)  
大槻葉月さん(57歳、綾部市)



卓越な技術による造形で、動きのある大胆な口づくりが成功しており、表面の適度な加飾がニュアンスとなって完成度の高い作品になっている。(審査員：高坂嘉津幸)

丁寧な写生にもとづく作者の人間性を感じられる美しい作品です。これからも益々写生に励まれ、さらに高度な作品を描いてください。(審査員：池内璋美)

## U-22 審査員賞

- ◆洋画の部
  - 「白馬の回顧録」(30号) 南澤航洋さん(17歳、舞鶴市)
  - ◆書の部
    - 「臨道因法師碑」(240号×60号) 加門己乃さん(17歳、小浜市)
    - 「臨王鐸」(242号×60号) 佐藤舞花さん(16歳、福知山市)
    - 「臨蜀素帖」(240号×60号) 清水良香さん(17歳、小浜市)
  - ◆写真の部
    - 「小さな春(四つ切)」 新谷彩心さん(15歳、舞鶴市)
    - 「母の姿」(34号×17号×18号) 平沼麟さん(20歳、舞鶴市)
  - ◆工芸美術の部
    - 「臨雁塔聖教序」(242号×60号) 藤井想来さん(16歳、綾部市)
    - 「終南山」(226号×52号) 吉崎ほの香さん(20歳、舞鶴市)

## 第50回記念賞



洋画の部  
「金魚殺人事件II」(P40号)  
細見茂樹さん(66歳、宮津市)



日本画の部「楽しいな！」(F20号)  
井上良子さん(79歳、精華町)



写真の部「目覚めの頃」(51・3号×62号)  
林正武さん(74歳、舞鶴市)

## 舞鶴市展「総選挙」結果発表

会期中、来場された人にお気に入りの作品を投票いただく「総選挙」を実施。総投票数は241票。各部門ごとの一番人気作品は次のとおり。

- ◆洋画の部…「13の春」 梶原宮子さん(舞鶴市)
  - ◆日本画の部…「秋日和」 新谷喜久枝さん(舞鶴市)
  - ◆書の部…「臨道因法師碑」 加門己乃さん(小浜市)
  - ◆写真の部…「目覚めの頃」 林正武さん(舞鶴市)
  - ◆工芸美術の部…「点はじける！」 大江妙子さん(福知山市)
  - 「仏像彫刻」 山中幸男さん(綾部市)
- 作品は市ホームページで公開中。